

四つのテスト—言行はこれに照らしてから—

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

熊本南ロータリークラブ



週報

R I テーマ
 心の中を見つめよう 博愛を拡げるために
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-2012 度 国際ロータリー会長
 カルヤン・バネルジー(インド)

例会日: 毎週月曜日 12:30~13:30
 例会場: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内
 創立日: 昭和33年9月1日(承認 昭和33年11月24日)
 事務局: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内
 TEL: 096-211-2720 FAX: 096-211-2721 E-mail: minamirc@mail.sysken.or.jp

国際ロータリー第2720地区
 会長/堀川貴史 幹事/野口泰則
 クラブ広報委員長/馬場大介

2011-2012 RI テーマ



第20回 例会記録(通算第2505回)
 平成23(2011)年12月12日

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 会員卓話

井上雅文会員

今月・来月の行事

- 1/6(金)12:30~14:00 熊本市域 RC 新春合同例会@キャッスル
- 1/16(月)18:30~ 新年会@新茶家
- 1/25(水)8:30~ ゴルフコンペ@城南 CC

斉唱 国歌 君が代
 ロータリーソング 「我らの生業」

会長報告 (堀川貴史君)

先日12月5日(月)の例会時に、年次総会も無事に終わりました。会員の皆様方のご協力に心から感謝申し上げますと共に、次年度の理事、役員の皆様方におかれましては、次年度に向けての準備等これからどうぞよろしくお願い申し上げます。また、そのあと開催していただきました、恒例の「年忘れ家族会」においても、親睦委員会の皆様方中心に、とても楽しく賑やかな会にさせていただきましたことに対して、心より感謝申し上げます。名司会振りを發揮していただいた三角さん、おやじバンドの古財さん、山本さん、丸山さん、石田さん、新入会員でありながら、プレゼントの調達を快くお引き受け頂いた渡邊さん、お付き合い頂きました理事の皆様方、事務局の児玉さん、そしてそのすべてを統括いただきました喜讀親睦委員長。本当にお世話になりました。また、会員の皆様方には大いにホスト役も努めていただきました。本当にありがとうございました。改めて私は熊本南ロータリークラブの会長をさせていただいて幸せです。あと半年間精一杯頑張ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、12月11日(日)に、国府高校インターアクトクラブによります、街頭募金活動が行われました。藤木委員長には、準備、根回し、当日のお世話に大変お世話になりました。また、急な案内にもかかわらず、応援にかけつけていただきました会員の皆様、ありがとうございました。委員会のほうから報告があると思います。

今年も残すところあとわずかとなりました。風邪などが流行っているみたいですので、十分にご注意ください。以上、会長報告と致します。

出席報告 (園田修司君)

会員数	出席数	出席率	前々回(11/28) 修正出席率
60名	42名	73.68%	85.96%
出席規定適用免除者 9名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

幹事報告 (野口泰則君)

1. ガバナー事務所より、「2011-12地区大会のご案内」の送付。受付にて全員に配布しています。
2. ガバナー事務所より、「タイ・バンコク国際大会ツアーについて」

旅行期間

- Aコース 2012年5月5日(土)~8日(火)4日間
- Bコース 2012年5月5日(土)~9日(火)5日間
- Cコース 2012年5月5日(土)~10日(火)6日間

旅行代金

	スーパーアクラス	デラックスクラス
Aコース	98,000円	108,000円
Bコース	106,000円	118,000円
Cコース	114,000円	128,000円

参加希望の方は事務局までご連絡下さい。

3. 熊本西RCより、第3回市域RC会長・幹事会のご案内。
 日時 2012年1月17日(火)15:00~
 場所 全日空ホテルニュースカイ

例会変更のお知らせ

○平成RC～クリスマス家族例会に変更

[変更前] 12月21日(水)12:30～

[変更後] 12月21日(水)18:30～

[会場] 全日空ホテルニュースカイ

○菊南RC～定款に基づき休会

[日時] 12月28日(水)12:30～

[会場] ユウベルホテル熊本

○平成RC～定款に基づき休会

[日時] 12月28日(水)12:30～

[会場] 全日空ホテルニュースカイ

*サインメーキャップはありませんのでご注意ください。

○水前寺公園RC～定款に基づき休会

[日時] 12月28日(水)12:30～

[会場] メルパルク熊本

○05福祉RC～定款に基づき休会

[日時] 1月3日(火)12:30～

[会場] 火の国ハイツ

*サインメーキャップはありませんのでご注意ください。

○菊南RC～新春合同例会に変更

[変更前] 1月4日(水)12:30～

[変更後] 1月6日(金)12:30～

[会場] 熊本ホテルキャッスル

*サインメーキャップはありませんのでご注意ください。

○水前寺公園RC～新春合同例会に変更

[変更前] 1月4日(水)12:30～

[変更後] 1月6日(金)12:30～

[会場] 熊本ホテルキャッスル

次年度理事会報告 12/12

① S.A.A.の決定

→ 丸田秀一氏(本年度の副 S.A.A.)を提案。承認。

定例理事会報告 12/12

1. 地区大会の登録について

→ 詳細確認後、改めて検討する。

2. 事務局院の退職について

→ 3月退職予定。1月くらいに採用して引き継ぎを行う。

3. その他

→ 1月23日(夜)クラブ協議会を開催予定。

委員会報告

●親睦活動委員会 (玉田光識君)

会員誕生祝・結婚祝

[誕生祝]

三角雄介 君 12.07

井上雄一朗 君 12.11

湊田俊郎 君 12.22

吉永彰一 君 12.25

[結婚祝]

藤木正幸 君 12.02

鈴木勝志 君 12.05

工藤青史 君 12.05



熊本南 RC ゴルフコンペのお知らせ

日時 2012年1月25日(水)

場所 未定

詳細が決まり次第ご連絡致します。



●雑誌委員会 (井上雅文君)

まず横書きのページをお開き下さい。1 ページ目にはカルヤン・バネルジーRI 会長の『家族とともに』という表題のメッセージが掲載されています。この記事のなかで、ロータリーを形成している単位は、個人ではなく家族であり、ロータリーは『私の為』ではなく、『私たちの為』のものと説いています。是非ご一読下さい。

5 ページ～15 ページまでは12月は家族月間ということで、親族3人以上がロータリアンという方々が紹介されています。

16 ページ～23 ページまでは各地区のロータリーの多岐にわたる活動が綴られています。

24 ページから 26 ページまでは東日本震災復興基金日本委員会からの報告について、27 ページには米山記念奨学生とその学友たちが台風12号による大雨で甚大な被害の及んだ、和歌山紀南地区において、災害復旧のボランティア活動について、記されています。

28 ページ 29 ページはフィリピンにおける日系及び一般青少年のための育英資金であるバギオ基金についての説明と30 周年の記念祝賀会の様子が報告されています。

30 ページにはロータリーの創始者ポール・ハリスがロータリーの組織を立ち上げに至るまでのエピソードが紹介されています。

31 ページ～33 ページまでは、新企画、同論異論と題し、初回は、東日本大震災に対し、さまざまな自粛の声を聞か、自粛はすべきか？否か？また会員増強は必要か？否か？とのテーマに対し、様々な意見が述べられています。

34 ページ 35 ページは日本ロータリー写真館 5 として、今から約 40 年前の 1970 年当時のロータリークラブの活動が紹介されています。

36 ページ 37 ページには米山だより、38 ページ 40 ページには 2011 年～2012 年度の地区大会略報が紹介されています。

41 ページのエバンストン便りからは、『エイズと闘う一日』と題し、ポリオの全国予防接種日に数千人のロータリアンが、ケニアとウガンダの 125 箇所以上で保健サービス、カウンセリング、HIV 検査を実施し、2 万 4,000 人以上が訪れたことを紹介しています。

縦書きのページにもご一読いただきたい記事が幾つかありますが、ここでは冒頭の『アフガニスタンの真実』侵略の歴史を持つアフガニスタンが地雷やクラスター爆弾の不発弾に日々悩まされている現状、広がる地域格差、目立たぬ支援について、医学博士レシャード・カレット氏が記念公演会で述べられた、抜粋記事をご紹介しますに留めたいと思います。

●インターアクト委員会（藤木正幸君）

12月11日（日）下通りパルコ前にて国府高校インターアクトクラブで「ポリオ撲滅 募金活動」を行いました。

寒い中、参加・応援に来て頂きました会員の皆様にお礼申し上げます。

募金総額は18,391円でした。ありがとうございました。



スマイルボックス（吉永彰一君）

○堀川貴史君・野口泰則君

先週の家族会は盛会のうちに終わり熊本南 RC 全会員、夫人の会、オハイエ熊本など関係の方々にお礼申し上げます。山本円さんの歌、かっこよかったです。

○寿崎肇君

12/7～10まで県立大津高校320名の修学旅行生と一緒に台湾に行ってきました。台北大同 RC にホームステイをお願いした関係もあり、チャーター便に便乗させてもらいました。初めてのことでしたが、大津高校生の立派な行動や白浜校長先生の指導力、統率力、見習うことばかりでした。勉強させて頂いた感謝を込めてスマイルを。

○現王園敏伸君

日曜日から5日間の日程で中国の成都、上海へ企業視察に行ってきました。中国経済の高成長に潜む光と影をしっかり見てきました。

○丸山浩之君・山本円君・古財良一君

先週はありがとうございました。少し緊張しましたが、何とか最後まで演奏出来ました。心一つに出来たと思います。オハイエのみなさんの「世界にひとつになるまで」も音楽の素晴らしさを感じました。ありがとうございました。

○田川憲生君

先週の年忘れ家族会、とても楽しく過ごせました。企画力に驚き、演者に驚きました。お疲れ様でした。

○中川順一君

本日、卓話を致します。寿崎パストガバナーに原稿を頂き、それを丸読みします。前もってお詫びのスマイルをします。

○漆島典和君

久しぶりにホームクラブ例会出席です。次年度理事会も欠席致しますことを合わせてお詫びのスマイルをします。

○星野誠之君

家族会は本当にお疲れ様でした。とても楽しく過ごしてもらい、末っ子は帰りの車で「帰りたくない。」と泣いていました。また来年もよろしくお祈りします。

○喜讀宣友君

先週の年忘れ家族会、楽しんで頂けましたでしょうか。至らない点もありましたが、盛り上がったかな、と思います。反省点は三角次期委員長に引き継ぎますので、どんどん言って下さい。急きょ料理を準備して頂いた田川会員、トミカ展のチケットを頂いた浅山会員、ありがとうございました。1月16日の新年会もよろしくお祈り致します。

本日の合計	17,000 円
今年度の累計	778,690 円

●会員卓話



中川順一ロータリー財団委員長
「ロータリー財団に因んで
世界で善いことをしよう」

【例会予定】

- 12月26日(月) **外部卓話** 佐藤雄作氏
九州財務局理財部金融監督官
「最近の金融行政について」
- 1月6日(金) 熊本市域 RC 合同新春例会
@熊本ホテルキャッスル
12:30～ 例会 13:00～14:00 懇親会

国際ロータリーホームページより <http://www.rotary.org/>

2011年11月28日

ロータリーがユネスコ水教育研究所と提携

ロータリーは、ユネスコ水教育研究所(UNESCO-IHE)と戦略的パートナーシップを結び、パッケージ・グラントを提供することとなりました。ロータリー・クラブはこの補助金を利用して、発展途上国の水や衛生の問題に取り組む専門家育成にあたることができます。このパッケージ・グラントでは、毎年8名の奨学生が、オランダ、デルフトにあるユネスコ水教育研究所で3つの修士課程プログラムのいずれかを専攻します。奨学生は将来、水・衛生分野の専門家として活躍することが期待されます。

ロータリーとユネスコ水教育研究所は、すべての人々、特に貧しい人々が継続的に水や衛生設備を使えるようにするという共通の目標を掲げています。また、今回の提携は、ロータリーの重点分野「水と衛生設備」を直接支援するものでもあります。「世界でさまざまな水問題が発生し、専門家が必要とされる中、ロータリーは、ユネスコ水教育研究所のような第一級の教育機関と戦略的パートナーシップを結び、人材の育成に力を注いでいきます」と話すのは、ロータリー財団のウィリアム・ボイド管理委員長です。「ロータリー・クラブは、将来における活躍が期待できる優秀な奨学生

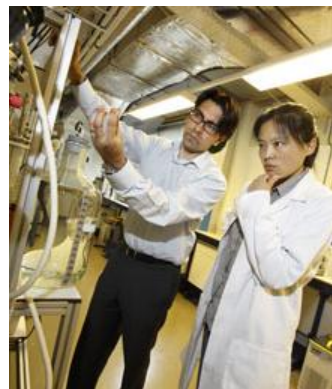
を探し、支援することで、水や衛生の問題解決に向けた重要な貢献ができます」
「発展途上国で発生する疾病の80パーセントは、水不足や不衛生が原因」と話すのは、ユネスコ水教育研究所のAndrás Szöllösi-Nagy教授です。「ロータリーとの協力を通じて、深刻化する水問題に取り組むための人材を育てることができます」
水教育の大学院課程として世界最大規模を誇るユネスコ水教育研究所では、1957年以来、160カ国以上から集まった14,500名を超える専門家が学んでいます。研究所はまた、研究や開発のためのプロジェクト推進、水に関する教育機関や組織の世界的ネットワークの管理、水教育に関する専門知識の提供、水に関する大学院教育や継続教育の国際的基準の設置にも関与しています。

●持続可能性

ロータリー財団は、今回のパッケージ・グラントを通じて、奨学生が地元の問題をグローバルな視点で捉え、問題解決に必要な研究、管理、技術的なスキルを身に付けられるよう支援し、長期的な投資を行うこととなります。ユネスコ水教育研究所では特に、学生の多くが発展途上国や移行期にある国の出身で、その87パーセントが卒業10年後にも水と衛生の分野で活躍しています。
ロータリー財団のパッケージ・グラントは、財団の重点分野において、大きな成果が望める、大規模で持続可能な国際プロジェクトを支援するものです。協力組織(戦略パートナー)とプロジェクトの大枠は既に決定されているため、この補助金を利用するロータリアンは、活動の実施に全精力と才能を集中させることができます。
シンプルな補助金プロセスを目指し、2010年7月1日から開始された財団の未来の夢試験段階には、現在100地区が参加しています。2013年7月1日から、すべての地区がこの新しい補助金モデルに移行する予定となっています。
ロータリー財団はこれまでに、マーシーシップス、アガ・カーン大学、オイコレッジ・インターナショナルとも提携を結んでいます。ユネスコ水教育研究所とのパッケージ・グラントへの申請に関する情報は、近日中にウェブサイトからご覧いただけます。

●関連情報

- ユネスコ水教育研究所(UNESCO-IHE)について
- オイコレッジ・インターナショナル、アガ・カーン大学、マーシーシップスとのパートナーシップ
- 未来の夢計画とパッケージ・グラント



水教育の大学院課程として世界最大規模を誇るユネスコ水教育研究所では、1957年以来、160カ国以上から集まった14,500名を超える専門家が学んでいます。(写真提供:UNESCO-IHE)